

農山漁村等地域の情報収集を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

(2) 地域住民への地元農産物の出張販売

J Aあさか野（埼玉県）

新規	継続
	○
	(2017年4月)

1 動機（経緯）	農協改革の対応として、農業者の所得増大と地域住民への地域農業の理解による地場農産物の消費、地域住民のJ A事業利用拡大に向けた取り組みが必要であるためです。
2 概要	出張販売の概要については、以下の通りです。 1 当J A管内は都市農業として農業経営を行っており農地は集約されていない地域柄と組合員の高齢化等により市場出荷から直売へのシフトしていることでJ Aが支援しております。 2 J A利用の地域住民として住宅ローン利用、年金受給者が拡大傾向にあることから、地元農産物の消費に繋がるPRを実施しております。 3 本店J A改革推進室、本店各課、該当支店職員で販売を担当しています。 4 当J A管内の4市の行政と連携して販売場所を選定して販売を行っています。 5 直売所のように固定店舗での販売ではなく、主に簡易テントによる販売で販売場所が変わることから「移動販売」として実施しております。
3 成果（効果）	出張販売の実績は以下の通りです。 1 移動販売（新座・朝霞・志木・和光）26ヶ所 延べ269回 2 農産物売上 22百万円 3 J A利用者を含めた地元農産物の周知ができました。 4 J Aの販売支援活動に対する生産者の理解が深まってきております。 5 職員の農協改革への意識向上と販売方法の工夫を考えるようになりました。
4 今後の予定	J A利用者である住宅ローン利用の若い方への利用度拡大をしていくためのPRを行っていきます。 また、農産物販売による信用事業のPRを行うとともに、J A間連携による他J Aの特産物販売を含め集客活動も検討してまいります。